

## 第22回（1年）

1. 日 時：令和6年1月26日（金）  
13:30～15:30
2. 場 所：へきしんギャラクシープラザ  
大会議室
3. テーマ：「ボランティアへの誘い」
4. 講 師：二宗 光文先生  
(アグリパーク安城代表)、  
杉浦 章先生  
(NPO 法人エコネットあんじょう)
5. 出席者：19 / 19名
6. 内 容

- （二宗氏）定年退職後に野菜作り。
    - ・次世代の子どもに安城の農と食の大切さを伝承。
    - ・農業後継者の育成、休耕地の活用。
    - ・団塊世代の地域の貢献を高める。
    - ・野菜を町の商店街の人に買ってもらい、喜んでもらう。
- \*植えて、育て、朝市を開催し、地域のつながり作りに取り組む。

- （杉浦氏）早期退職後、親の事業を継ぎ活動するも、知覚動考（ともかくうごこう）に魅了され活動。
  - ・ボランティア4原則  
自分の意志で行う（自主性）、自分のためでない（無償性）、様々なことが得られる（社会性）、既にある仕組み・発想を超えられる（先駆性）。
  - ・ボランティアの参加の性別（女性：73% 男性：27%）  
ボランティアの参加の年代（60歳以上：51%）
  - ・根羽村の水源確保のために木の再生事業に取り組み、次世代に引き継ぎたいと考えている。

### 7. 感想

前半の講義終了後、後半ではグループに分かれ、ボランティア活動で何を実施するか討議しました。あるグループが、「自分がしてほしいこと」をボランティア活動として提案していました。私にはその発想が無かったので、視野が広がりました。「ファミリー農園」や「山歩き」活動を通して、仲間と共に自然に親しみ、自然を愉しみながらする活動には興味が沸きました。

